

広島大学大学院総合科学研究科細則別表

博士課程前期(人間科学部門)

科目区分		授業科目名		単位数	使用言語	要修得単位数	
必修	総合科学演習		総合科学演習	2	※1	2	
	コア科目		コア科目 A コア科目 B	2 2	※1 ※1	4	
	特別研究		特別研究(生命科学研究) 特別研究(人間行動研究) 特別研究(身体運動科学研究) 特別研究(言語研究) 特別研究(人間存在研究)	8 8 8 8 8	※1 ※1 ※1 ※1 ※1	主領域 から 8	
	他部門専門科目						
選択必修	生命科学	領域	分野			12 (主領域 から 8) 他領域 から 4)	
		生命科学	生命科学	代謝生化学 キラル有機化学 後生動物進化学	2 2 2		※1 ※1 ※1
	人間行動研究	脳科学	脳科学	先端的神経細胞科学 神経情報制御論 脳機能解析学	2 2 2		※1 ※1 ※1
		動認知科学	動認知科学	認知行動論 時間行動論 認知言語論*	2 2 2		日本語 日本語 日本語
	人間行動研究	人間行動学	人間行動学	環境行動論 適応行動論 社会行動論	2 2 2		日本語 日本語 日本語
		身体運動科学	身体運動科学	身体運動神経生理学 身体運動生化学 身体運動適応学 身体運動心理学 身体運動解析学 身体運動文化哲学	2 2 2 2 2 2		※1 ※1 ※1 日本語 ※1 ※1
	言語研究	言語科学	言語科学	音声言語情報分析論*	2		※1
				認知意味論*	2		日本語
				対照言語学*	2		※1
				比較語用論*	2		※1
				現代英語の文法と語法	2		日本語
	言語構造論*	2	日本語				
コンピュータ言語学*	2	日本語					
応用言語学インターフェイス*	2	英語					
人間存在研究	人間存在論	人間存在論	哲学・思想*	2	日本語		
			応用倫理学*	2	日本語		
			美的存在論*	2	日本語		
			藝術存在論*	2	日本語		
			日本文化論*	2	※1		
藝術文化論*	2	日本語					
自由選択	リテラシー科目		研究倫理 ICT リテラシー 文書管理論 リスク・コミュニケーション BCM (Business Continuity Management) アカデミックライティング：理論と演習	1 1 2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 ※1 英語 英語	4	
	総合科学共同セミナー			2	※2		
合計						30	

履修方法

- ① 必修科目「コア科目」は、「コア科目 A」、「コア科目 B」の順に連続して履修することとする。「コア科目 A」及び「コア科目 B」は、いずれも「現代リスク論」、「創造と想像」、「総合情報論」及び「文明と環境」の 4 クラスのうちから指定された 1 クラスを履修する。
- ② 必修科目「特別研究」は、所属する領域(以下「主領域」という。)の開設科目を履修する。
- ③ 選択必修科目「専門科目」は、主領域の開設科目から 8 単位、主領域を除く領域(以下「他領域」という。)の開設科目から 4 単位を修得する。なお、他領域の開設科目から修得する 4 単位には、他部門の専門科目を含むことが望ましい。
- ④ 自由選択科目には、③の選択必修科目「専門科目」の要修得単位数を超えて履修した科目及び広島大学大学院共通授業科目を含むことができる。また、主指導教員と協議の上、他研究科開設授業科目を含むことができる。
- ⑤ 博士課程リーダー育成プログラム履修者は、必修科目の「総合科学演習」、「コア科目」及び「特別研究」を除く授業科目について、主指導教員と協議の上、博士課程リーダー育成プログラムに対応したカリキュラムを自主編成することができる。
- ⑥ 使用言語欄に※1 を付した授業科目は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。
- ⑦ 使用言語欄に※2 を付した授業科目で使用する言語は、開講時に指定する。

博士課程前期(環境科学部門)

科目区分		授業科目名	単位数	使用言語	要修得単位数			
必修	総合科学演習	総合科学演習	2	※1	2			
	コア科目	コア科目 A コア科目 B	2 2	※1 ※1	4			
	特別研究	特別研究(自然環境研究) 特別研究(総合物理研究) 特別研究(情報システム環境研究) 特別研究(社会環境研究)	8 8 8 8	※1 ※1 ※1 ※1	主領域 から 8			
選択必修	専門科目	領域	分野			12 (主領域 から 8) 他領域 から 4)		
		自然環境研究	環境生態学	保全生態学 共生微生物学 生物多様性科学(環境科学入門) 気候環境生態学	2 2 2 2		※1 ※1 英語 日本語	
			地球表層環境科学	地球構成物質論 地球表層物質輸送論 表層物質動態論 気候変動災害論 環境とコロイド	2 1 1 2 2		日本語 英語 ※1 日本語 ※1	
		総合物理研究	複雑系物理学	複雑系基礎論 複雑系物質論 複雑系構造論	2 2 2		※1 ※1 ※1	
			物理学	相関系量子論 相関系物質論 相関系計測論 相関系応用論	2 2 2 2		※1 ※1 ※1 ※1	
		情報環境システム研究	情報システム学	情報システム論 情報セキュリティ論 計算科学情報環境論 計算統計情報環境論 メディア通信特論	2 2 2 2 2		※1 ※1 ※1 ※1 ※1	
		社会環境研究	地域環境論	持続可能地域論* 地域情報論* 持続可能な観光発展論* 農村環境社会論*	2 2 2 2		日本語 日本語 英語 日本語	
			現代社会論	社会動態論* 社会階層論* 福祉社会論* 世界経済体制論* 産業システム論* コミュニティー論*	2 2 2 2 2 2		日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語	
		他部門専門科目						
		自由選択	リテラシー科目	研究倫理 ICTリテラシー 文書管理論 リスク・コミュニケーション BCM (Business Continuity Management) アカデミックライティング：理論と演習	1 1 2 2 2 2		日本語 日本語 日本語 ※1 英語 英語	4
総合科学共同セミナー			2	※2				
合計					30			

履修方法

- ① 必修科目「コア科目」は、「コア科目 A」、「コア科目 B」の順に連続して履修することとする。「コア科目 A」及び「コア科目 B」は、いずれも「現代リスク論」、「創造と想像」、「総合情報論」及び「文明と環境」の 4 クラスのうちから指定された 1 クラスを履修する。
- ② 必修科目「特別研究」は、所属する領域(以下「主領域」という。)の開設科目を履修する。
- ③ 選択必修科目「専門科目」は、主領域の開設科目から 8 単位、主領域を除く領域(以下「他領域」という。)の開設科目から 4 単位を修得する。なお、他領域の開設科目から修得する 4 単位には、他部門の専門科目を含むことが望ましい。
- ④ 自由選択科目には、③の選択必修科目「専門科目」の要修得単位数を超えて履修した科目及び広島大学大学院共通授業科目を含むことができる。また、主指導教員と協議の上、他研究科開設授業科目を含むことができる。
- ⑤ 博士課程リーダー育成プログラム履修者は、必修科目の「総合科学演習」、「コア科目」及び「特別研究」を除く授業科目について、主指導教員と協議の上、博士課程リーダー育成プログラムに対応したカリキュラムを自主編成することができる。
- ⑥ 使用言語欄に※1 を付した授業科目は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。
- ⑦ 使用言語欄に※2 を付した授業科目で使用する言語は、開講時に指定する。

博士課程前期(文明科学部門)

科目区分		授業科目名		単位数	使用言語	要修得単位数			
必修	総合科学演習		総合科学演習	2	※1	2			
	コア科目		コア科目 A コア科目 B	2 2	※1 ※1	4			
	特別研究		特別研究(文明史基礎研究) 特別研究(地域研究)	8 8	※1 ※1	主領域 から 8			
選択必修	専門科目	領域	分野	研究	文明史	文明共存論* 科学・技術・社会論* 宗教学*	2 2 2	日本語 日本語 日本語	12 (主領域 から 8 他領域 から 4)
					文化人類学	民族学研究* 象徴人類学研究*	2 2	日本語 ※1	
					社会文化研究	社会文化史* 比較教育社会論* 比較文学* 異文化理解*	2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 日本語	
		地域研究	広域研究	アジア研究	日本地域研究* 日本文藝社会研究* アジア地域研究* アジア文化論(現代文化)* アジア文化論(表象文化)* アジア文化論(伝統文化)* ヒロシマ平和学*	2 2 2 2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語 日本語		
				ヨーロッパ研究	ヨーロッパ地域研究 ヨーロッパ文化社会論 ヨーロッパ思潮社会論	2 2 2	日本語 日本語 日本語		
				英米研究	英米地域研究 英米文藝社会論 英米社会論(歴史) 英米社会論(国際関係) 英語圏地域研究	2 2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 日本語 ※1		
		他部門専門科目							
		自由選択	リテラシー科目		研究倫理 ICT リテラシー 文書管理論 リスク・コミュニケーション BCM (Business Continuity Management) アカデミックライティング: 理論と演習	1 1 2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 ※1 英語 英語	4	
			総合科学共同セミナー			2	※2		
		合計						30	

履修方法

- ① 必修科目「コア科目」は、「コア科目 A」、「コア科目 B」の順に連続して履修することとする。「コア科目 A」及び「コア科目 B」は、いずれも「現代リスク論」、「創造と想像」、「総合情報論」及び「文明と環境」の 4 クラスのうちから指定された 1 クラスを履修する。
- ② 必修科目「特別研究」は、主領域の開設科目を履修する。
- ③ 選択必修科目「専門科目」は、主領域の開設科目から 8 単位、他領域の開設科目から 4 単位を修得する。なお、他領域の開設科目から修得する 4 単位には、他部門の専門科目を含むことが望ましい。
- ④ 自由選択科目には、③の選択必修科目「専門科目」の要修得単位数を超えて履修した科目及び広島大学大学院共通授業科目を含むことができる。また、主指導教員と協議の上、他研究科開設授業科目を含むことができる。
- ⑤ 博士課程リーダー育成プログラム履修者は、必修科目の「総合科学演習」、「コア科目」及び「特別研究」を除く授業科目について、主指導教員と協議の上、博士課程リーダー育成プログラムに対応したカリキュラムを自主編成することができる。
- ⑥ 使用言語欄に※1 を付した授業科目は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。
- ⑦ 使用言語欄に※2 を付した授業科目で使用する言語は、開講時に指定する。

博士課程前期(21世紀科学プロジェクト群)

科目区分		授業科目名	単位数	使用言語	要修得単位数
必修	総合科学演習	総合科学演習	2	※1	2
	コア科目	コア科目 A コア科目 B	2 2	※1 ※1	4
	特別研究	特別研究(21世紀科学プロジェクト)	8	※1	8
自由選択	専門科目	部門専門科目			16
	リテラシー科目	研究倫理 ICTリテラシー 文書管理論 リスク・コミュニケーション BCM (Business Continuity Management) アカデミックライティング：理論と演習	1 1 2 2 2 2	日本語 日本語 日本語 ※1 英語 英語	
	総合科学共同セミナー		2	※2	
	合計				

履修方法

- ① 必修科目「コア科目」は、「コア科目 A」、「コア科目 B」の順に連続して履修することとする。「コア科目 A」及び「コア科目 B」は、いずれも「現代リスク論」、「創造と想像」、「総合情報論」及び「文明と環境」の4クラスのうちから指定された1クラスを履修する。
- ② 自由選択科目は、主指導教員と協議の上、所属するプロジェクトチームに対応したカリキュラムを自主編成する。
- ③ 博士課程リーダー育成プログラム履修者は、必修科目の「総合科学演習」、「コア科目」及び「特別研究」を除く授業科目について、主指導教員と協議の上、博士課程リーダー育成プログラムに対応したカリキュラムを自主編成することができる。
- ④ 使用言語欄に※1を付した授業科目は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。
- ⑤ 使用言語欄に※2を付した授業科目で使用する言語は、開講時に指定する。

博士課程後期

科目区分		授業科目名	単位数	要修得単位数
必修	研究演習	生命科学研究演習	8	主領域又はプロジェクト外から8
		人間行動研究演習	8	
		身体運動科学研究演習	8	
		言語研究演習*	8	
		人間存在研究演習	8	
		自然環境研究演習	8	
		総合物理研究演習	8	
		情報システム環境研究演習	8	
		社会環境研究演習	8	
		文明史基礎研究演習	8	
		地域研究演習	8	
		21世紀科学プロジェクト研究演習	8	
		合計		

履修方法

- ① 必修科目「研究演習」は、所属する領域又はプロジェクトの開設科目を履修する。
- ② 授業は、履修する学生の状況により、日本語、英語又は日本語及び英語の併用のいずれかの方法で実施する。